【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和4年10月24日(2022.10.24)

【国際公開番号】WO2021/206050
【出願番号】特願2022-514061(P2022-514061)
【国際特許分類】
H03H 9/25(2006.01)
【FI】
H03H 9/25 A
H03H 9/25 C

【手続補正書】
【提出日】令和4年8月24日(2022.8.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
支持基板と、
前記支持基板上に配置された中間層と、
前記中間層上に配置された圧電層と、
前記圧電層上に形成された機能素子と、
前記支持基板上において、前記中間層および前記圧電層で形成される積層体の側面に接するように配置された絶縁層と、
前記絶縁層上から前記圧電層上にわたって形成され、前記機能素子に接続される配線電極とを備え、
前記絶縁層は、
前記積層体の厚みよりも薄く形成された第１領域と、
前記第１領域と前記積層体とをつなぎ、前記第１領域から前記圧電層の上面に向かって傾斜した部分を有する第２領域とを含み、
前記絶縁層の前記第２領域は、前記圧電層上に至っていない、圧電デバイス。
【請求項２】
前記絶縁層は、前記支持基板上における、前記積層体が形成されていない領域に形成されている、請求項１に記載の圧電デバイス。
【請求項３】
前記積層体の側面は、前記支持基板に対して傾斜している、請求項１または２に記載の圧電デバイス。
【請求項４】
前記第２領域の前記絶縁層の上面は、前記積層体の側面の上端よりも前記支持基板に近い位置で前記積層体に接している、請求項１～３のいずれか１項に記載の圧電デバイス。
【請求項５】
前記第２領域の前記絶縁層の上面は、前記積層体の側面の上端で前記積層体に接している、請求項１～３のいずれか１項に記載の圧電デバイス。
【請求項６】
前記中間層は、
前記支持基板上に配置され、前記圧電層に伝搬する弾性波の速度よりも高速の弾性バルク波を伝搬する高音速層と、

前記高音速層と前記圧電層との間に配置され、前記圧電層に伝搬する弾性波の速度よりも低速の弾性バルク波を伝搬する低音速層とを含む、請求項１～５のいずれか１項に記載の圧電デバイス。

【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図５】

FIG.5

